

新日本製薬が  
応援する  
社会貢献活動を  
ご紹介



# 地雷被害者<sup>ゼロ</sup>をめざして カンボジアの人々に夢と希望を。

長きにわたる内戦により、未だ約600万個の地雷が残るカンボジア。地雷原に暮らす人々を支援する「カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)」理事長の大谷賢二さんに、その現状と未来への思いを伺いました。

## 地雷の脅威から 人々を救いたい。

▲地雷撤去後の土地に建設した「CMCホップイ安倍小学校」の子どもたちと大谷さん。

◀今年4月、大谷さんが発起人となって「西日本・カンボジア友好協会」が発足。

◀今なお続く地雷撤去作業。100%の撤去には人による慎重なチェックが不可欠です。

学生時代から反戦運動に取り組み、これまでに訪れた国は93。カンボジアで目の当たりにした地雷の残虐さは、まさに衝撃でした。地雷の被害に苦しみ、生きる望みを失い暮らす人々。75セント(約100円)あれば地雷原1㎡の地雷撤去が可能との話に、それなら私にも何かできるかもしれないと思い、一人でCMCを立ち上げました。今から15年前のことです。

以来、活動に賛同してくださった個人・企業のご支援、また講演に行った小学校の子どもたちによるアルミ缶回収や募金活動などで、活動は少しずつですが着実に広がってきました。今では地雷被害者の数を活動当初の8分の1に減らし、学校建設・運営、地雷被害者支援まで行えるようになっていきます。

## カンボジアの 経済発展の支援も。

ですが、現実にはまだ地雷の被害は続いており、まだ多くの人たちが貧困に苦しんでいます。これから先のことを考えると、カンボジアが経済的に発展し、自ら資金を確保することが必要なのではないか。そこで、今年4月、カンボジアに日本企業を誘致するための「西日本・カンボジア友好協会」を設立し、カンボジアの経済発展を支援する活動も始めました。

私の目標は、10年以内に地雷被害者を0にすることです。カンボジアの子どもたちの笑顔、また日本が支援してくれている子どもたちの笑顔を見ると、絶対に途中でやめるわけにはいきません。すべてのカンボジアの人たちが安心して生活できる場所を取り戻すこと、それがCMCの使命だと思っています。

一般財団法人  
カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)  
理事長 大谷賢二さん  
おおたにけんじ

### 一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)

カンボジアの地雷撤去・地雷被害者救済を目的に、1998年5月設立。2004年、カンボジア・バタンバン市に現地事務所を設立。地雷撤去後の土地で小学校1校・中学校2校の建設・運営、被害者の心のケアをめざしたラジオ番組の放送など、さまざまな活動を行っている。2013年4月からは、日本企業を対象としたカンボジアビジネス視察ツアーの開催、「西日本・カンボジア友好協会」の設立など、カンボジアの経済発展を支援する活動も開始している。

【公式HP】<http://cmc-net.jp/>

